



老若男女、各分野で活躍するさまざまな「四日市人」を取材して、その人の言葉で四日市の魅力などを読者に伝えるコーナーです。

CTY「ちゃんねるよっかいち」でも紹介します。

放送日時：5月11日～6月10日 9:00・19:30

○一番最初はモダンバレエ

5歳の時、友達がやっていたモダンバレエに憧れて始めました。そして、6歳でクラシックバレエに転向しました。

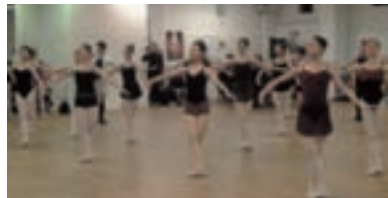
今は週6回、平日は1日2時間くらい練習しています。基礎を重点的に取り組んでいますが、技術や表現を研究する楽しさがあるので、練習は飽きません。

○ドイツ国際バレエコンクールで銅賞受賞

今回踊った「ガムザッティ」は、得意な回転がたくさん入っていて、表現力も問われる曲だったので選びました。

久しぶりの海外コンクールで少し緊張しましたが、いい緊張感を持って踊ることができました。各国のバレエ学校の生徒や日本からの留学生などさまざまな人が出場するコンクールだったので、自分とは違ったタイプの表現を学ぶこともできました。

コンクール後は、ウラジーミル・マラーホフやニーナ・アナニアシヴィリといった有名ダンサーのワークショップに参加しました。



ワークショップの様子（最前列中央）



ドイツ国際バレエコンクール「ラ・バヤデール ガムザッティ」

特に現役のダンサーのニーナから実演指導が受けられたことは、大変勉強になりました。



かとう まい
加藤 舞さん

昨年11月の「京都バレエコンクール」クラシックバレエ部門の高校生の部で1位を獲得し、「ドイツ国際バレエコンクール2014」でも見事銅賞を受賞した四日市高等学校2年の加藤さんにお話を聞きました。

○みんなの支えがバレエの力に

コンクール出発前、クラスメートや先生から励ましのメッセージが書かれたノートとお守りをいただきました。このノートとお守りがとても支えになり、1年間積み重ねてきたことを本番で発揮することができました。今は、支えてくれた人みんなへの感謝の気持ちでいっぱいです。

○バレエと勉強の両立を目指して

高校入学当初は、バレエと勉強の両立が大変でしたが、今はコンクールが近いときはバレエにかけける時間を多めに、定期テストが近いときは勉強にかけける時間を多めにと、比重を考えながらやっています。限られた時間を効率的に使う努力をしているうちに集中力を高めていくことができるようになりました。そして、その集中力が今回の成果につながったと思います。

今後は、バレエの表現で観客の心を動かせるようなりたいです。本当にバレエが好きなので、将来はバレエ関係の仕事に就きたいと思っています。



ドイツ国際バレエコンクール「ドン・キホーテ キトリ」

有料広告掲載欄



マスコットキャラクター「ココロくん」

LPガスと太陽光発電など、複数のエネルギーを有効に組み合わせ、エコと快適を両立したライフスタイルを提案します。

エネルギーと住まいの
朝日ガスエナジー株式会社

TEL: 059-332-2311

四日市市西坂部町4789-2

URL <http://www.asahigas.co.jp>

E-mail info@asahigas.co.jp

本欄は広告であり、広告の内容に関する一切の責任は広告主に帰属します。